

平成30年度 事業報告書

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

平成30年度 事業報告目次

総括

受託事業及び実施事業について

- 別紙Ⅰ 障害者就労促進チャレンジ事業
- 別紙Ⅱ 精神障害者等向け実践能力取得訓練コースの委託先機関開拓業務
- 別紙Ⅲ 平成30年度実績表
- 別紙Ⅳ 制度施策部会 事業報告
- 別紙Ⅴ 研修部会 事業報告
- 別紙Ⅵ 広報部会 事業報告
- 別紙Ⅶ 特別支援学校との連携におけるワーキンググループ事業報告
- 別紙Ⅷ 役員 部会 事務局構成
- 別紙Ⅸ 加盟センター 一覧表

1. 総括

平成30年度は、障害者の就労・雇用においてはまさしく激動の年になりました。精神障害者の雇用義務、またこれに伴う雇用率の引き上げは、障害者雇用に大きな変化をもたらしたと言えます。企業の障害者雇用を進める動きは加速し、事業所が集中する地域及び周辺では求人を出しても人が雇用できないという状況になりました。また、このような状況はこれまでの雇用・就職支援の在り方を変えたと言えます。準備訓練・マッチングのための職場実習を経て就労という従来のスタンスでは、障害者雇用が追い付かず十分な訓練・実習を実施せず採用活動を進める企業が増加しました。一見就職のハードルが下がったように見受けられますが、実際はその後定着支援に多くの時間が必要な状況を作り出していることに他なりません。新たな福祉サービスである「就労定着支援事業」については、スタートを切ったということにとどまり、具体的な在り方や方向性については次年度以降に検討が必要になりました。そして「省庁における障害者雇用者数の不適切な計上問題」は、これまで企業と私たちが培ってきた障害者雇用のあり方を破壊してしまったと言っても過言ではありません。さらにセンターの支援対象者が限定されるという、これまでには例を見ない大きな問題を残しました。

このように多くの問題を積み残した年になりましたが、協議会としての活動は関係機関とのネットワークをより強固なものにしたと言えます。制度施策部会が近隣10都県85センターを対象として実施した「事業評価に係るアンケート」においては、これまで何となく皆が感じていた違和感や事業評価に対する思いが浮き彫りになりました。また、アンケート内において調査した隣接する都県のセンターとの連携については、多くの課題が確認出来ました。研修部会では「法を犯した障害者の支援」をテーマに研修を行い、これまであまり連携が進んでいなかった機関の周知と、関係構築の足掛かりを作ることが出来ました。広報部会では、広報誌やホームページにより積極的に情報発信することにより、関係機関への広報・啓発に努めました。特別支援学校との連携を目的としたワーキングチームでは、千葉県内において年間400名を超える方が卒業と同時に就職する現状を踏まえ、定着支援における障害者就業・生活支援センターとの連携の在り方を検証・検討してきました。

平成31年3月1日には、連絡協議会設立10年に合わせて、特別部会が中心となり「拡大版地域意見交換会」を開催しました。障害者就業・生活支援センタースタッフ、関係機関の方、総勢300名近くの参加を得て盛大に開催することが出来ました。障害者就業・生活支援センターがそれぞれの圏域において、しっかりとネットワークを構築しているということを実証したと言えるのではないのでしょうか。

平成31年2月1日、2日には、研修部会の取組の一環として「障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラム」において運営スタッフの派遣などを行いました。フォーラムには日本全国のセンターから約300名が参加し、千葉の地で交流を深めました。

この他にも千葉県商工労働部産業人材課より例年受託・実施している「障害者就労促進チャレンジ事業」では、企業相談会を千葉労働局が実施する「0人雇用企業」を対象とした企業相談会とコラボする形式で開催するなど、新たな取り組みを実施しました。

障害者雇用を取り巻く環境変化は、ますますスピード感を増しています。当協議会は障害者の就労支援が様々な課題に直面する中、これまで同様にネットワークの構築・強化、関係機関との連携についてしっかりと検証・検討してきました。今後もこの姿勢を変えることなく、地域と密接な関係を築き当協議会並びに障害者就業・生活支援センターの資質の向上に努めていきたいと考えます。

I 受託事業について

I-1 障害者就労促進チャレンジ事業

受託先 千葉県商工労働部産業人材課

受託期間 平成30年4月4日(水)～平成31年3月31日(日)

詳細 (別紙I) 平成30年度障害者就労促進チャレンジ事業報告書参照

I-2 精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務

受託先 千葉県商工労働部産業人材課

受託期間 平成30年4月23日(月)～平成31年3月31日(日)

詳細 (別紙II) 平成30年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務完了報告書参照

II 実施事業について

II-1 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会総会

参加数 16センター

開催日 平成30年5月18日(金) 会場: 千葉商工会議所

内容 平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画について

II-2 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会定例会

参加数 16センター

開催日 第1回定例会 平成30年 7月17日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第2回定例会 平成30年 9月18日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第3回定例会 平成30年11月20日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第4回定例会 平成31年 1月29日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第5回定例会 平成31年 3月19日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

内容 協議会運営に関する協議及び情報共有の場として2か月に1度を目安に実施した。障害者雇用に関する情報交換及び行政や外部団体の新規事業説明等を行うことにより、情報共有を図った。

II-3 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会幹事会(会長、副会長、部会代表者、事務局)

参加数 会長1名 副会長2名 各部会代表3名 事務局2名

開催日 第1回幹事会 平成30年 5月 8日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第2回幹事会 平成30年 7月 3日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第3回幹事会 平成30年 9月 4日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第4回幹事会 平成30年11月13日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第5回幹事会 平成31年 1月15日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

第6回幹事会 平成31年 3月 5日(火) 会場: ふる里学舎本千葉

内容 主に定例会前に開催。定例会の協議事項などの確認および喫緊の課題等を協議。

Ⅱ－４ 連絡調整会議

① 第１回連絡調整会議

参加数 16センター

開催日 平成30年8月24日（金） 会場：ホテルポートプラザ千葉

参加団体

千葉労働局、千葉県健康福祉部障害福祉事業課、千葉県商工労働部産業人材課
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課、千葉県総務部総務課
高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部、千葉障害者職業センター
千葉県特例子会社連絡会、千葉県精神保健福祉センター、障害者雇用企業支援協会
千葉県立障害者高等技術専門校、千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会
千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会、千葉県相談支援事業連絡協議会

内容 議会活動報告、意見・情報交換、シンポジウム

テーマ 『就業支援のネットワークにおける情報について』

進行	ビック・ハート柏	佐藤 敦
発表	社会福祉法人サンワーク市川市南八幡ワークス	鎌田 成泰氏
	千葉県立特別支援学校 市川大野高等学園	加藤 誠氏
	総合病院国保旭中央病院 神経精神科デイケア	矢島 雅子氏
	株式会社舞浜コーポレーション	古迫 香枝氏
	障害者就業・生活支援センターいちされん	西村 拓士

② 第２回連絡調整会議（拡大版地域意見交換会）

参加数 意見交換会 266名 情報交換会 131名

開催日 平成31年3月1日（金） 会場：千葉市文化センター アートホール
会場：三井ガーデンホテル

参加団体 県内16センター各圏域意見交換会、連絡調整会議参加団体

内容 協議会活動報告、意見・情報交換、シンポジウム

テーマ 『これからの障害者雇用を考える』

進行	障害者就業・生活支援センター香取就業センター	岡澤 和則
発表	障害者就業・生活支援センターあかね園	國島 弘
基調講演	横浜やまびこの里	志賀 利一氏

シンポジスト

株式会社リタリコ	梶原 真也氏
千葉障害者職業センター	鈴木 瑞也氏
株式会社舞浜コーポレーション	古迫 香枝氏

コーディネーター

千葉障害者就業・生活支援センター協議会会長	藤尾 健二
-----------------------	-------

Ⅱ-5 各種会議体への参加、研修会等への講師派遣（別紙Ⅲ）

- ① 千葉県総合支援協議会本部会委員
- ② 千葉県総合支援協議会就労支援専門部会
- ③ 千葉県総合支援協議会権利擁護専門部会委員
- ④ 千葉県総合支援協議会精神障害者地域移行推進専門部会
- ⑤ 千葉県障害者施策推進協議会委員
- ⑥ 千葉県障害者就労事業振興センター理事
- ⑦ 千葉県特別支援教育研究推進会議
- ⑧ 千葉県発達障害者支援地域協議会
- ⑨ 千葉県若者自立支援ネットワーク協議会
- ⑩ 平成30年度障害者雇用サポート事業への協力
- ⑪ 若年性認知症対策総合推進事業への協力

Ⅱ-6 関係機関との連絡調整

- ① 千葉県労働局～雇用安定等事業、福祉・教育・医療から雇用への移行推進事業に関すること
- ② 千葉県商工労働部産業人材課～障害者就労促進チャレンジ事業、企業支援員事業、笑顔いっぱいフレンドリーオフィス事業、精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務に関すること
- ③ 千葉県健康福祉部障害福祉事業課～生活支援等事業に関すること
- ④ 千葉県総務部総務課～チャレンジドオフィスちばに関すること
- ⑤ 千葉県立障害者高等技術専門学校～委託訓練事業、連絡会への出席及び連携に関すること
- ⑥ 千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課～特別支援学校進路指導主事、就労支援コーディネーター連絡協議会への出席及び連携に関すること
- ⑦ 千葉県教育庁教育振興部教職員課～県立高等学校、県立教育機関における障害者雇用に関すること
- ⑧ 千葉県精神保健福祉センター～精神障害者の支援に関すること
- ⑨ 千葉県障害者職業センター～年2回の意見・情報交換会への出席及び連携に関すること
- ⑩ 千葉県特例子会社連絡会～年2回の意見・情報交換会への出席及び連携に関すること
- ⑪ パソナ・千葉～千葉県障害者雇用サポート事業
- ⑫ 千葉県就労継続支援事業A型連絡協議会～意見・情報交換会への出席及び連携に関すること
- ⑬ 千葉県健康福祉部高齢者福祉課～若年性認知症に関する就労支援に関すること
- ⑭ 千葉県障害者就労事業振興センター～障害者の自立に関すること
- ⑮ 千葉県商工労働部経済政策課～千葉のちから「中小企業・小規模企業表彰」に関すること

II-7 部会活動（別紙の部会事業報告参照）

- ①制度施策部会 （別紙IV）
- ②研修部会 （別紙V）
- ③広報部会 （別紙VI）

II-8 ワーキンググループ活動

千葉県内特別支援学校就労支援コーディネーター幹事校等と、在学中の支援や定着支援の在り方、情報共有について等年4回意見交換を行った。次年度以降も引き続きワーキンググループとして活動していく。

詳細については(別紙VII 特別支援学校との連携に関するワーキンググループの報告書)を参照

II-9 添付資料

- ① 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 役員・部会構成 （別紙VIII）
- ② 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 加盟センター名一覧（別紙IX）

平成 30 年度 障害者就労促進チャレンジ事業 事業報告書

平成 30 年度は、企業向け見学会を 6 回、法定雇用率未達成企業相談会を 6 回、障害者向け見学会を 5 回開催し、短期職場実習 80 件を実施することを目標とした。千葉労働局の協力のもと、各ハローワークから法定雇用率未達成企業等への案内文送付の協力を頂けたこと、千葉労働局が実施する「0 人雇用企業支援」とタイアップし、共催という形で企業向け見学会を実施したことなどもあり、目標値を上回る実施件数となった。

1 企業等の理解促進

・企業向け見学会

7 圏域で開催し、障害者雇用において先駆的な取り組みをしている企業や今後雇用が伸びていくと思われる業種で障害をお持ちの方が活躍している企業を見学し、全体で 74 企業 27 機関 155 名が参加され、最終的に 11 社が障害者雇用を実施している。

・法定雇用率未達成企業相談会

6 圏域で開催し実際に障害者雇用をした際のイメージがつきやすいよう、障害者雇用を行っている企業やハローワークでの勉強会等で支援機関との意見・情報交換などを行い、94 企業 37 機関 169 名が参加され、最終的に 15 社が障害者雇用を実施している。

2 障害のある人等の意識改革

今年度は 5 圏域で開催し、計 90 名の障害当事者、保護者、支援者等が参加し、企業見学・企業担当者や障害当事者との意見交換・参加者間の情報交換等を行った。

この見学会を経て今まで就業は難しいだろうと考えていた障害当事者やその周りの方が、就業に目を向ける良いきっかけになり、7 名の方が就労に至っている。

3 短期職場実習

企業支援員と協力しながら、実習企業の開拓を行った。平成 30 年度に法定雇用率が改正した影響も大きく、実習を受け入れる企業側の意識も高かった。

今年度も各センター概ね 5 回、全体で 80 回、基本的に 1 回あたりの実習日数を 5 日程度として、事業実施を行い、問題なく取り組めた。

結果としては 127 回延べ 630 日の実習を行うことが出来、さらに実習をきっかけに就職された方は 72 名に上がっている。企業数や実習日数は昨年度とほぼ横ばいではあるが、実習を経たからの就職数は昨年よりも 10 名増えている。

様式第3号（契約第13条）

平成30年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務
業務完了報告書

千葉県知事 鈴木 栄治 様

住所 千葉県千葉市美浜区新港4-3

氏名 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会
会長 藤尾 健二

平成30年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務委託
契約書第13条により、下記のとおり報告します。

記

1 事業実施結果

(1) 実践能力習得訓練コースの受託企業の開拓

① 訪問企業数	47 件
② ①のうち実践能力習得訓練コースを新たに受託した企業数	17 件
③ 上記②の企業が実施した延訓練定員	10 人
④ 訪問先企業を選定するにあたって参考とした情報等 精神障害者の雇用経験が豊富な企業（笑顔いっぱいフレンドリーオフィス認定企業を中心に）、またハローワークと連携しながら、経験はあまりなくても会社全体で積極的に受け入れていこうとしている企業などを訪問し、受託の依頼をしている。	

(2) 訓練内容や訓練カリキュラム等のコーディネート

① 訓練内容や訓練カリキュラムをコーディネートした企業数	75 件
(具体的なコーディネート内容) 新たに訓練先として認定された企業において、実際に訓練が活用されるよう障害者高等技術専門校と連携し、訓練カリキュラム設定等のコーディネートを行った。	

(3) 実践能力習得訓練コースの受託企業に対する事務手続き等の支援

① 事務手続き等の支援をした企業数	34 件
(具体的な支援内容) 障害者高等技術専門校と連携し、電話もしくは必要に応じて企業を訪問するなどして、企業の事務負担軽減を図った。	

(4) その他訓練受託企業に対する助言・支援

企業に対して、訓練当事者の障害特性や仕事の適性などを伝え、スムーズに訓練を行えるようにしたり、勤怠について話があり、期間を多少変更するなど柔軟な対応を図るなどした。障害者高等技術専門校コーディネーターなどと連携しながら適宜企業訪問し、不安なことがあった場合に気軽に連絡できるような関係を築くことで、戸惑いや不安は取り除くことが出来た。	
---	--

平成30年度実績報告

4月		5月		6月		7月	
1日	火	1日	金	1日	金	1日	日
2日	水	2日	土	2日	土	2日	月
3日	木	3日	日	3日	日	3日	火
4日	金	4日	月	4日	月	4日	水
5日	土	5日	火	5日	火	5日	木
6日	日	6日	水	6日	水	6日	金
7日	月	7日	木	7日	木	7日	土
8日	火	8日	金	8日	金	8日	日
9日	水	9日	土	9日	土	9日	月
10日	木	10日	日	10日	日	10日	火
11日	金	11日	月	11日	月	11日	水
12日	土	12日	火	12日	火	12日	木
13日	日	13日	水	13日	水	13日	金
14日	月	14日	木	14日	木	14日	土
15日	火	15日	金	15日	金	15日	日
16日	水	16日	土	16日	土	16日	月
17日	木	17日	日	17日	日	17日	火
18日	金	18日	月	18日	月	18日	水
19日	土	19日	火	19日	火	19日	木
20日	日	20日	水	20日	水	20日	金
21日	月	21日	木	21日	木	21日	土
22日	火	22日	金	22日	金	22日	日
23日	水	23日	土	23日	土	23日	月
24日	木	24日	日	24日	日	24日	火
25日	金	25日	月	25日	月	25日	水
26日	土	26日	火	26日	火	26日	木
27日	日	27日	水	27日	水	27日	金
28日	月	28日	木	28日	木	28日	土
29日	火	29日	金	29日	金	29日	日
30日	水	30日	土	30日	土	30日	月
31日	木	31日	日			31日	火

全国就業ネットワーク研究発表大会(鹿児島)

全国就業ネットワーク研究発表大会(鹿児島)

協議会幹事会

就労支援ネットワーク連絡会PT会議

特別支援学校就労支援コーディネーター打ち合わせ

障害者雇用推進連絡協議会 松橋ノーマル相談勉強会

高尾地区企業と特別支援学校が連携するセミナー

教育庁主催障害者雇用担当連絡協議会 松橋

NPO法人 全国就業ネットワーク 情報交換会 (役員 事務局) 協議会定例会

職業人材課、障害者高等技術専門校との打ち合わせ(事務局)

第1回千葉県障害者就業・生活支援センター スタアップ研修会

第1回雇用移行推進連絡協議会 (福祉、教育、医療から雇用への移行推進事業)

特例子会社連絡会 藤尾会長

広報部会

精神障害者等職場内サポート一養成研修

精神障害者等職場内サポート一養成研修

千葉県教育庁生涯学習部特別支援部職員研修打ち合わせ

海匠圏域 企業相談会

8月	9月	10月	11月	南関東ブロック会議
1 水	1 土	1 月	1 木	
2 木	2 日	2 火	2 金	
3 金	3 月	3 水	3 土	
4 土	4 火	4 木	4 日	
5 日	5 水	5 金	5 月	
6 月	6 木	6 土	6 火	
7 火	7 金	7 日	7 水	
8 水	8 土	8 月	8 木	
9 木	9 日	9 火	9 金	
10 金	10 月	10 水	10 土	
11 土	11 火	11 木	11 日	
12 日	12 水	12 金	12 月	
13 月	13 木	13 土	13 火	広報部会 協議会幹事会
14 火	14 金	14 日	14 水	
15 水	15 土	15 月	15 木	
16 木	16 日	16 火	16 金	南関東ブロック会議
17 金	17 月	17 水	17 土	
18 土	18 火	18 木	18 日	
19 日	19 水	19 金	19 月	
20 月	20 木	20 土	20 火	協議会定例会
21 火	21 金	21 日	21 水	
22 水	22 土	22 月	22 木	高野支援ネットワーク連絡会PT会議 ワーキンググループ立ち上げ
23 木	23 日	23 火	23 金	
24 金	24 月	24 水	24 土	
25 土	25 火	25 木	25 日	
26 日	26 水	26 金	26 月	
27 月	27 木	27 土	27 火	
28 火	28 金	28 日	28 水	
29 水	29 土	29 月	29 木	
30 木	30 日	30 火	30 金	
31 金	31 月	31 水		

美浜圏域障害者向け見学会

市原圏域未達成企業相談会

香取圏域企業向け見学会

安房圏域障害者向け見学会

市川圏域未達成企業見学会

長生圏域企業向け見学会

千葉圏域未達成企業相談会

柏圏域障害者向け見学会

12月	1月	2月	3月	職業センター意見交換会
特別支援学校障害者型コンピュータ連携協議会 第2回年次総会特別子会社連絡会	特別支援学校障害者型コンピュータ連携協議会 第2回年次総会特別子会社連絡会	第2回HW及びナカボツセンター連絡協議会 全国障害者特別子会社連絡会	職業センター意見交換会	職業センター意見交換会
1 土	1 火	1 金	1 金	第2回連絡調整会議(10周年事業)
2 日	2 水	2 土	2 土	
3 月	3 木	3 日	3 日	働く仲間の会(藤尾会長)
4 火	4 金	4 月	4 月	
5 水	5 土	5 火	5 火	協議会幹事会
6 木	6 日	6 水	6 水	
7 金	7 月	7 木	7 木	
8 土	8 火	8 金	8 金	
9 日	9 水	9 土	9 土	
10 月	10 木	10 日	10 日	
11 火	11 金	11 月	11 月	
12 水	12 土	12 火	12 火	
13 木	13 日	13 水	13 水	
14 金	14 月	14 木	14 木	就労支援ネットワーク連絡会PT会議
15 土	15 火	15 金	15 金	
16 日	16 水	16 土	16 土	
17 月	17 木	17 日	17 日	
18 火	18 金	18 月	18 月	
19 水	19 土	19 火	19 火	協議会定例会
20 木	20 日	20 水	20 水	
21 金	21 月	21 木	21 木	
22 土	22 火	22 金	22 金	
23 日	23 水	23 土	23 土	
24 月	24 木	24 日	24 日	
25 火	25 金	25 月	25 月	HWとナカボツセンター意見交換会
26 水	26 土	26 火	26 火	
27 木	27 日	27 水	27 水	労働局新任障害者担当者研修～会田
28 金	28 月	28 木	28 木	
29 土	29 火	29 金	29 金	
30 日	30 水	30 土	30 土	
31 月	31 木	31 日	31 日	

習志野圏域企業向け見学会
君津圏域未達成企業相談会
市原圏域未達成企業相談会

野田圏域企業向け見学会
印旛圏域未達成企業相談会

船橋圏域企業向け見学会
海匝圏域未達成企業相談会

平成３０年度 制度施策部会事業報告

Ⅰ．総括

今年度は、『ナカポツセンター事業評価』及び『近隣ナカポツセンターとの連携』に関し一年間、総力を注ぎアンケートを実施した。東京、神奈川、山梨、長野、茨城、埼玉、群馬、新潟、栃木、そして千葉の１都９県、８５センターを対象とした大規模アンケートを実施、回答率６８％という十分な母数を基にした結果を８５センターと共有し、さらにその結果を労働局や県内ハローワークに発信する事で今ナカポツセンターが直面している問題、課題等を広く伝播し、各ナカポツセンターや関係機関等の次の事業展開に一石を投ずる役割の一端を担えたと考えられる。

反面、そこにエネルギーを集中するあまり、今年度は視察を実施する事は適わなかった。

Ⅱ．活動内容

- ・『ナカポツセンター事業評価』及び『隣接圏域のナカポツセンターとの連携状況』についてのアンケート調査をインターネット形式で実施。
- ・上記アンケートをまとめ(添付)、千葉労働局連絡会議にて発表。
- ・同アンケートのまとめを県外６９センターに対し発送。アンケート結果の再利用を認め、各圏域内での意見発信等に活用出来るようにした。また、当協議会HPにて近日公開予定。

Ⅲ．部会開催状況

- | | |
|-------|---|
| 第１回会議 | ６月２７日実施 |
| | 内容：アンケート内容、目的、実施方法、スケジュールに関し調整 |
| 第２回会議 | ８月 ３日実施 |
| | 内容：具体的な実施方法・手段、方向性、集計方法等に関し調整 |
| 第３回会議 | １２月１２日実施 |
| | 内容：アンケート結果確認・考察、発表の方向・内容・方法に関し調整 |
| 第４回会議 | １月 ７日実施 |
| | 内容：スケジュール、役割分担、発表内容詳細に関し調整 |
| | コアメンバー会議 １月１７日実施 |
| | 内容：具体的なまとめ方法と発表の狙い、役割分担・スケジュール改訂
に関し調整 |
| 第５回会議 | ２月 ８日実施 |
| | 内容：２月２５日発表に向けた最終調整 |

平成30年度 研修部会事業報告

I. 総括

障害者の就労支援に携わる支援者の育成を推進する事を目的として、平成30年度は研修会を2回開催した。

第1回研修は千葉障害者就業支援キャリアセンターより福島氏を講師としてお招きし、千葉県の特徴的な取り組みである『企業支援員事業について』その歴史や支援内容、ノウハウなど基本的なことから実践的な話まで幅広く学んだ。

第2回研修においては『罪を犯した障害者の支援・地域連携』をテーマとし、千葉県地域生活定着支援センターより岸センター長にお越し頂き、地域生活定着支援センターの役割、支援における視点など、具体的な事例をもとにご講義頂き、学びを深める機会とした。

第1回・第2回ともに講師の講義を聞いて終わるのではなく、グループワークによる気付きの共有や課題の検討等を併せて実施することで参加型の研修とすることが出来た。

研修成果について、参加者の就業年数や職歴（キャリア）によって学びの形や大きさはそれぞれであったと考えられるが、実施後のアンケート（添付資料）によると、各回において学びによる満足度が得られたことは間違いない。また、アンケート結果ではセンター間での交流や初任者や中堅、ベテランの枠を超えた意見交換を行なえた事が大変有意義であったという声も引き続き多く寄せられており、本研修が人財育成のみならず、千葉県内障害者就業・生活支援センターの連携強化にもつながったのではないかと考察出来る。

次年度においても引き続き参加者の満足を得られるように、専門領域、それに隣接する領域に拘らず、その時々に必要な内容をテーマとして臨機応変に企画をすることが研修部会として肝要であると考えます。

II. 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会研修事業（年2回開催）詳細

研修会名『平成30年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 第1回スタッフ研修』

- ① 開催日時 平成30年7月20日（金）13時～17時15分
- ② 会 場 ハロー貸会議室千葉駅前 RoomB
- ③ 対 象 連絡協議会会員（各障害者就業・生活支援センター職員）
- ④ 参加人数 障害者就業・生活支援センター職員49名
- ⑤ 研修内容 ◆講演 「定着支援/企業支援におけるスタンスなど」
（講師） 千葉障害者就業支援キャリアセンター
広域担当企業支援員 福島 洋助 氏
◆グループ討議

研修会名『平成30年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 第2回スタッフ研修』

- ① 開催日時 平成31年2月22日（金）13時30分～16時45分
- ② 会 場 千葉商工会議所12階 研修室A

- ③ 対 象 連絡協議会会員（各障害者就業・生活支援センター職員）
④ 参加人数 障害者就業・生活支援センター職員 44名
⑤ 研修内容 ◆講演「罪を犯した障害者の支援・地域連携について」
（講師）特定非営利活動法人 生活サポート千葉千葉県地域生活定着支援センター
センター長 岸 恵子 氏
◆グループ討議

Ⅲ. 「障害者就業・生活支援センター事業をより深く考えるための全国フォーラム」の開催協力

開催日 平成31年2月1日（土）～2日（日） 会場：千葉県教育会館
参加人数 16センター 36名
内容 受付、会場設営、情報交換会の運営、資料印刷、昼食手配、講師誘導等

Ⅳ. 部会開催状況

- 第1回 平成30年6月7日（木）
場 所 千葉障害者就業支援キャリアセンター
内 容 第1回連絡協議会スタッフ研修会の打ち合わせ
- 第2回 平成30年6月14日（木）
場 所 千葉障害者就業支援キャリアセンター
内 容 第1回連絡協議会スタッフ研修について講師を交えて打合せ
- 第3回 平成30年7月17日（火）
場 所 ふる里学舎本千葉
内 容 第1回連絡協議会スタッフ研修会の打ち合わせ
- 第4回 平成30年11月9日（金）
場 所 ふる里学舎本千葉
内 容 第1回連絡協議会スタッフ研修会の振り返り、第2回連絡協議会スタッフ研修会の打ち合わせ
- 第5回 平成30年11月20日（火）
場 所 ふる里学舎本千葉
内 容 第2回連絡協議会スタッフ研修会の打ち合わせ
- 第6回 平成31年1月8日（火）
場 所 千葉障害者就業支援キャリアセンター
内 容 第2回連絡協議会スタッフ研修会の打ち合わせ

第7回 平成31年3月19日(火)

場 所 ふる里学舎本千葉

内 容 第2回連絡協議会スタッフ研修会振返り・次年度に向けての打ち合わせ

V. 添付資料

- ① 第1回連絡協議会スタッフ研修参加者向けアンケート
- ② 第2回連絡協議会スタッフ研修参加者向けアンケート

平成30年度 広報部会事業報告

1 広報紙

平成30年度は第16号を6月30日、第17号を1月31日に発刊を行う。内容は部会を開催し協議会の取り組みや、各センターの活動報告など紙面を工夫し構成することで、連絡協議会、センター事業の周知を広く行えるように作成を行った。その結果事業内容や各センターでの活動状況などの理解につながったと思われる。

2 ホームページの管理

ホームページの維持・管理はTMクリエイトに委託する。内容は各センターのチャレンジ事業の開催案内や、広報紙の掲載等を主に実施する。今後も連絡協議会のPR等に結びつくように管理を行っていく。

3 パンフレットの作成

連絡協議会パンフレットは引き続き株式会社集賛舎に依頼し5,000部作成する。今年度は大きな変更点はなく各センターの活動等に利用する。また、今年度は残数調査を行ったところ、約1,600部と大量に余ってしまっているため、次年度の作成部数、使用方法などは検討が必要であった。

4 部会の開催

平成30年 5月15日 ホームページの管理・広報紙の発刊に関して

平成30年 6月22日 広報紙の発刊に関して

平成30年11月12日 広報紙の発刊に関して

平成30年12月21日 広報紙の発刊に関して

平成31年 1月29日 広報紙の発刊に関して

別紙Ⅶ

平成30年度 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ事業報告

I. 総括

先生方との連携の仕方や、障害者就業・生活支援センターの位置付けや支援方法について再度認識を深める機会を設けることが出来た。

今年度は16センターに向けて、アンケートを実施。内容から統一できるものと、そうでないものに分けることが出来、また地域性も大きく関わっていることが分かった。

今回のアンケートの内容も含め、特別支援学校側と進められるものとそうでないものに分けて話し合いを続けていきたい。

今後も障害者就業・生活支援センター内でも情報を集約するとともに、支援を円滑に進められるよう、意見交換を続けていきたい。

II. 活動内容

特別支援学校就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議等に出席
千葉県内特別支援学校就労支援コーディネーター幹事校等と、在学中の支援や卒業生の定着支援の在り方、技能員や調理員の在り方等について意見交換を行う。

またプロジェクトチーム内で打ち合わせを行い、アンケートを作成し実施・集計することが出来た。

III. 活動状況

【就労支援ネットワーク連絡会プロジェクトチーム会議】 千葉県総合教育センター

- ・平成30年 6月 8日 (金)
- ・平成30年11月22日 (木)
- ・平成31年 2月14日 (木)

【就労支援コーディネーター連絡協議会】 千葉県総合教育センター

- ・平成30年 9月11日 (火)
- ・平成30年12月 4日 (火)

【ワーキンググループ打ち合わせ】

- ・平成30年 8月22日 (水) 千葉障害者キャリアセンター
- ・平成30年11月22日 (木) 千葉県総合教育センター

平成30年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

役員・部会・事務局構成

① 役員

役職	所属	氏名
会長	障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	藤尾 健二
副会長	障害者就業・生活支援センター東総就業センター	辻内 理章
副会長	障害者就業・生活支援センタービック・ハート松戸	古川 亮
監事	千葉県知的障害者福祉協会 相談支援部会部会長	大越 将司

② 部会構成

広報部会 担当：古川副会長 部会長：近藤大介	障害者就業・生活支援センター中里	近藤 大介
	障害者就業・生活支援センターエール	杉山 布美江
	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センター山武プリオ	杉本リリアーナ
	障害者就業・生活支援センターピア宮敷	鶴岡 裕太
制度施策部会 担当：國島弘 部会長：柄澤隆一	障害者就業・生活支援センターはーとふる	柄澤 隆一
	障害者就業・生活支援センター香取就業センター	岡澤 和則
	障害者就業・生活支援センタービック・ハート松戸	中野 誠人
	障害者就業・生活支援センター就職するなら明朗塾	村田 かおり
	障害者就業・生活支援センター長生プリオ	山岡 功平
研修部会 担当：辻内副会長 部会長：佐藤 敦	障害者就業・生活支援センター東総就業センター	平野 秀樹
	大久保学園障害者就業・生活支援センター	会田 宏明
	障害者就業・生活支援センタービック・ハート柏	佐藤 敦
	障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	向日 宏一
	障害者就業・生活支援センターいちされん	西村 拓士
特別部会 担当：藤尾会長 部会長：本郷宏治	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センターいちされん	西村 拓士
	大久保学園障害者就業・生活支援センター	会田 宏明
	障害者就業・生活支援センタービック・ハート松戸	中野 誠人
	障害者就業・生活支援センター香取就業センター	岡澤 和則
	障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	杉澤 沙織
	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	石森 広恵

③ 特別支援学校との連携に関するワーキンググループ

	障害者就業・生活支援センターいちされん	西村 拓士
	障害者就業・生活支援センターあかね園	近藤 行介
	障害者就業・生活支援センター東総就業センター	平野 秀樹
	障害者就業・生活支援センタービック・ハート柏	八木原 直彦
	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター	本郷 宏治
	障害者就業・生活支援センター中里	金木 隆裕
	障害者就業・生活支援センター千葉障害者キャリアセンター	在原 秀則

事務局	障害者就業・生活支援センターふる里学舎地域生活支援センター
-----	-------------------------------

平成30年度 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 加盟センター一覧表

圏域	センター名	住所	電話番号
千葉	千葉障害者キャリアセンター	〒261-0002 千葉市美浜区新港43	043-204-2385
習志野	あかね園	〒275-0024 習志野市茜浜3-4-6京葉測量棟内	047-452-2718
船橋	大久保学園	〒274-0054 船橋市金堀町499-1	047-457-7380
市川	いちされん	〒272-0026 市川市東大和田1-2-10市川市分庁舎C棟内	047-300-8630
野田	はーとふる	〒278-8550 野田市鶴奉7-1野田市役所 1階	04-7124-0124
松戸	ビック・ハート松戸	〒271-0047 松戸市西馬橋幸町117 ロザール松戸109	047-343-8855
柏	ビック・ハート柏	〒277-0005 柏市柏3-6-21 柏ビル302	04-7168-3003
印旛	就職するなら明朗塾	〒285-0026 佐倉市鐘木仲田町9-3	043-235-7350
市原	ふる里学舎地域生活支援センター	〒290-0265 市原市今富1110-1	0436-36-7762
君津	エール	〒292-0067 木更津市中央1-16-12サンライズ中央1階	0438-42-1201
安房	中里	〒294-0231 館山市中里291	0470-20-7188
夷隅	ピア宮敷	〒299-4504 いすみ市岬町桑田341-1	0470-87-5201
山武	山武ブリオ	〒299-3211 大網白里市細草3221-4	0475-77-6511
長生	長生ブリオ	〒297-0012 茂原市六ツ野2796-40	0475-44-4646
海匝	東総就業センター	〒289-2513 旭市野中3825	0479-60-0211
香取	香取就業センター	〒287-0101 香取市高萩1100-2	0478-79-6923